

平成 22 年度 大阪大学工学部機械系同窓会 (大阪大学工業会機械部会第 48 回総会)

工業会機械部会 部会長 城野 政弘
機械工学専攻 専攻長 竹内 芳美

平成 22 年度 大阪大学工学部機械系同窓会 (大阪大学工業会機械部会第 48 回総会) を下記のように開催いたします。工学研究科では建物の改修が順次進められてきており、今回は昔の面影を残す機械系関連の建物や実験室をご覧いただける最後の機会となるかもしれません。これを受けて、会場を大阪大学吹田キャンパスとし、講演についても、機械工学の主要分野から材料力学と制御工学をとりあげて、それぞれでの今昔のとらえ方やパラダイムの変化についての俯瞰的な内容を企画いたしました。万障お繰り合わせの上、ご参加頂きますようお願い申し上げます。

記

- 1. 日 時** 平成 22 年 12 月 4 日 (土) 講演会・総会 13:00 ~ 16:45
懇親会 17:00 ~ 18:30
- 2. 場 所** [講演会・総会] 大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻・機械 M4 棟 2 階 M4-201 講義室
〒565-0871 吹田市山田丘 2-1
添付地図および以下のホームページをご参照ください。
<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/>
[懇親会] ラ・シェーナ (GSE コモン・イースト棟 15 階, TEL: 06-6816-8411)
- 3. 行 事** 13:00~13:30 「最近の機械工学専攻の紹介」 専攻長 竹内芳美 教授
13:30~14:00 機械部会総会
14:00~14:45 講演 1 「材料力学におけるサイズの効果」
渋谷陽二 教授 (機械工学専攻 複合メカニクス部門)
概要: 従来の連続体力学では、力学現象を規定するサイズ(寸法)を持たない。したがって、極小のマイクロチップの熱応力解析から、地球規模の断層の変形解析に至るまで、自由自在に力学挙動の予測ができる。サイズが小さくなると、材料のディフェクト(欠陥)の振る舞いにより系全体の応答が決まる塑性変形では、そのサイズ効果が顕著に表れる。最近の材料力学の分野で注目されているこの力学挙動におけるサイズ効果を紹介する。
15:00~15:45 講演 2 「制御工学のパラダイムシフト物語」
大須賀公一 教授 (機械工学専攻 知能機械学部門)
概要: 制御工学の概念は時代と共に変化しており、20 数年毎にパラダイムシフトが起こっている。そして 2000 年代は次の世代へと変貌しつつある時代である。本講演では、制御工学の歴史を振り返り、その不連続な展開について概観し、現在の自分自身の中でおこりつつあるパラダイムシフトについて紹介したい。
15:45~16:45 研究室見学
17:00~18:30 懇親会 (ラ・シェーナ)
(会費 一般 6,000 円、学生 2,000 円、当日懇親会会場受付でお支払いください。)

【連絡先】 〒565-0871 吹田市山田丘 2-1

大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻

副部会長 藤田喜久雄 TEL 06-6879-7323

会計幹事 山本 剛宏 TEL 06-6879-7308

FAX 06-6879-7308

E-mail: take@mech.eng.osaka-u.ac.jp

【参加申込】

※ 申込期限 平成 22 年 11 月 12 日(金) 17:00

※ 会計幹事・山本まで、FAX または E-mail で、氏名、卒業年次・修了年次、現在の所属 (ご退職されている場合は元所属)、連絡先、講演会・総会への出欠、懇親会への出欠、を記載の上、お申し込み下さい。

